

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業
の進捗及び評価について

(令和6年度)

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

触れる

触れる

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
							令和6年度 予算	実績と成果		文化振興市民会議					推進委員会	
								実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)							
1	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	既存文化財展示施設の充実	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	武蔵国分寺跡資料館や文化財資料展示室、民俗資料室において、発掘調査により出土した文化財及び収集した資料の展示や史跡の整備状況を紹介します。市民の文化財に対する理解を深めます。	あり	武蔵国分寺跡資料館 延べ来館者数 12,970人 開館日数 307日 文化財資料展示室 延べ来館者数 3,273人 開館日数 306日 民俗資料室 延べ来館者数 31人 開館日数 6日	—	—	夏季展示として「国分寺市制施行60周年記念写真展 国分寺市誕生 その日、その時」及び「浜野栄次昆虫コレクション～虫の色のひみつ～」を、秋季展示として「文化財保存館の歴史を振り返る 15年目の蔵出し展」を開催しました。また、企画展のパンフレットを作成し、入園者のみならず、研究機関や市内の小中学校等への周知を行いました。	—	引き続き、市民の文化財に対する理解を深めていただく機会を創出するため、個別テーマによる企画展示を実施します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
2	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	(仮称)郷土博物館構想調査事業	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	国分寺市の歴史的資料を適切に収蔵保管し、生涯学習や情報の集積・発信並びに学校教育と積極的な連携のもとで展示公開するための拠点として(仮称)郷土博物館設置を検討します。	なし	(仮)郷土博物館設置については設置場所や費用、新庁舎建設など課題が多く、現在検討に至っていません。	—	—	—	—	C	平成5年3月の基本構想策定から30年以上が経過しているため、今後も関係部署と調整を進め、検討してもらいたい。	平成5年3月の基本構想策定から30年以上が経過しているため、今後も関係部署と調整を進め、検討してもらいたい。	
3	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	ホール施設における鑑賞機会の提供	文化振興課	文化振興課	いずみホールで様々な分野の鑑賞型事業を行います。	あり	①第6回国分寺みらい音楽コンクール受賞者記念コンサート(4/21)②「オーケストラ探険ファミリーコンサート」(6/16)③マスターズ・リサイタル「フレディ・ケンプ ピアノ・リサイタル」(12/14)	各1回	①139人 ②295人 ③353人	指定管理者と協力して事業を実施しました。	—	今後も、様々な分野の鑑賞型事業を通じて、芸術に触れる機会を提供していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
4	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	武蔵国分寺新能の開催	文化振興課	文化振興課	姉妹都市佐渡市から能の演者を招請し、伝統芸能である新能を市民に鑑賞する機会を提供し、姉妹都市相互の文化交流を深める機会とします。	なし	佐渡の演者の高齢化及び舞台機材の保管等について庁内で協議の結果、令和5年度より開催中止としました。	—	—	—	—	E	—	—	
5	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	伝統文化こども教室	文化振興課	文化振興課	子どもたちが伝統芸能及び生活文化を体験・習得できるよう、伝統文化を次世代に継承している教室に協力するため、講師連絡会に所属する各教室実行委員会との共催で伝統文化こども教室発表会を開催します。	あり	各教室が文化庁の支援を受け事業を実施しています。市内の小・中学生を対象に伝統文化【伝統芸能こども教室(日本舞踊、詩吟、剣詩舞)・いけばな親子教室・和装礼法親子教室・ジュニア茶会】の体験教室が実施されました。市は、各団体から提出のあった申請書類の取りまとめや、参加者募集にあたっての広報を支援しました。また、発表会を以下のスケジュールで開催しました。 ・伝統文化いけばな親子教室(12/15) ・こくぶんじジュニア茶会(12/22) ・伝統芸能こども教室(1/19) ・伝統文化和装礼法親子教室(1/26)	・いけばな親子教室21回 ・こくぶんじジュニア茶会7回 ・伝統芸能こども教室20回 ・伝統文化和装礼法親子教室20回	・いけばな親子教室56人 ・こくぶんじジュニア茶会39人 ・伝統芸能こども教室37人 ・伝統文化和装礼法親子教室32人	各教室が補助金を活用し事業を実施しています。市は、参加者募集にあたり、市報、市HPへの記載や市内小学校へのチラシ配布などで本事業を支援しました。	—	市内の子どもたちが参加しており、守り伝えられたきた伝統文化の継承と歴史や文化への理解を深め、豊かな人間性を養うため、引き続き本事業に協力していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
6	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	文化講座の開催	文化振興課	文化振興課	文化芸術に関する講座を開催し、市民の文化芸術への関心を高めます。	あり	文化講座 もっと知りたいシリーズ12「アートを身近に うみだすひと、うけとるひと、つなぐひと」講師：杉浦幸子氏(武蔵野美術大学教授)を3月16日に開催しました。アンケートでの評価は、31人回答中、26人がとてもよかった、4人がよかったとの評価を受けました。	1回	43人	次期計画である、第3次国分寺市文化振興計画の目標「だれもが身近に文化芸術を感じられるまち」に繋がるような講座を行いました。	—	市民の文化芸術への関心を高めていく文化講座を企画し、継続して開催していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

触れる

触れる

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況		意見	
							令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)				(A～E)	文化振興市民会議	推進委員会	
7	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	環境教育の推進	まちづくり計画課	環境経営課	毎月1回、市民・事業者・市が環境問題について自由に意見を交換できる「環境ひろば」を開催します。また、年に1回、環境ひろばと協働で「環境シンポジウム」を開催し、様々なテーマを設定して専門家による講演を開催します。学校での環境学習をサポートするために、職員、環境アドバイザー等を派遣して学習会を開催します。	あり	・環境ひろば 国分寺市環境基本条例に基づき、市民・事業者・市が一堂に会し、環境をテーマに自由に意見交換を行う場として開催しました。また、事例見学会として神代植物公園植物多様性センターの見学を実施しました。 ・環境シンポジウム 市民が環境問題について考える機会として、環境ひろばと共催で環境シンポジウムを開催しました。 開催日：令和7年3月1日（土） 会場：リオンホール（オンライン同時開催） 講師：佐藤留美氏（NPO法人Green Connection TOKYO代表理事／NPO法人NPO birth事務局長）、大橋勇貴氏（リオン株式会社 微粒子計測器事業部 事業戦略室 担当課長） テーマ：「～東京の緑の骨格軸～『国分寺産線』をめぐる生物多様性向上の取組み」 内容：基調講演、事例紹介 ・環境アドバイザー派遣・活用 環境アドバイザーの周知と活用を目的に、市の事業に講師として招へいしました。	・環境ひろば全体 会12回 ・環境シンポジウム1回 ・環境アドバイザー活用2回	・環境ひろば延べ 135人 ・環境シンポジウム96人 ・環境アドバイザー活用イベント延べ73人	・環境ひろば 策定中の計画について広く市民意見を伺うとともに、市民に関心を持ってもらうことを目的に、策定中の計画を環境ひろばのテーマに複数回設定し、意見交換を行いました。事例見学会の開催などを通じて、参加者の増加を図りました。 ・環境シンポジウム 幅広い参加を促すため、会場とオンラインの同時開催により実施しました。市内事業者による事例紹介も取り入れ、内容の充実化を図りました。 ・環境アドバイザー派遣・活用 環境アドバイザーの派遣について広く周知するため、市報やホームページの掲載を行いました。	・環境ひろば 参加者の固定化及び年齢層の偏り（若中年層の参加が少ない。）。及び事業者の参加がないこと ・環境シンポジウム 参加年齢層の偏り（若中年層の参加が少ない。）。市民の興味・関心のあるテーマ設定と講師の招へい ・環境アドバイザー派遣・活用、派遣申請の伸び悩み	B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。		
8	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	環境教育の推進	学校指導課	学校指導課	子どもの頃から環境に対する意識を持てるよう、各校において環境教育を推進します。	あり	小学校全校で、学校内の農園や学童体験農園において、作物の栽培・収穫の体験を行いました。 ・学童体験農園実施校 第六小学校	—	—	耕す・掘る・植える・育てるなど農業の各プロセスを児童が直接行い、できるだけ多くの体験ができるよう授業を組み立てました。	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。		
9	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	環境教育の推進	社会教育課	社会教育課	子どもの頃からの環境に対する意識を持てるよう、野外体験、自然学習を実施します。	あり	わんぱく学校を開催し、42人の参加のもと、10回のプログラムを実施しました。	10回	42人	青少年委員の協力を得て、友好都市飯山市での宿泊合宿をはじめ、屋内外での事業を企画し、実施した。	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。		
10	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	公民館における文化に関する事業の推進	公民館課	公民館課	音楽・映画等の文化芸術に触れ鑑賞等の機会を持つ事業、市民の環境意識醸成のための環境教育に関する事業、国際化・多文化共生に関する事業、文学や歴史等を学ぶ事業のための文化プログラム等、公民館各種主催事業等を実施します。	あり	【本多】文化芸術に触れる事業として、「春のコンサート（管弦、金管十重奏）」など7事業、環境講座として「ビンの中に小さな生態系をつくらう」、計8事業を実施しました。 【恋ヶ窪】アカペラコンサート、シネマ恋ヶ窪、16mmフィルムこども上映会、寄席、こいがくぼこどもキャンパス（歴史・邦楽・絵画・地域農業各1回）、多文化共生講座（韓国を知る）の9講座を計10回実施しました。 【光】環境講座、外国人のための生活日本語教室、生活日本語教室、子育て防災講座、防災学習会、幼い子のいる親のための教室、子育て応援講座を実施しました。 【もとまち】もとまち上映会（「とんび」、「パウ・パトロールザ・マイティ・ムービー」）、多文化共生講座（ウクライナのお守り人形モタンカを作ろう）、食文化講座（料理人から学ぶ中国料理の魅力～点心編～）、歴史講座（「天平人のリアルな生活～古代食再現の試み」、「江戸時代の国分寺」）、文化講座（落語「時そば」から学ぶ江戸のお金と時間）を実施しました。 【並木】並木コンサート、国際関連講座、歴史講座等。並木芸術ギャラリー（6～3月）ではグループや個人から募集した作品や近隣の学校作品を月ごとの入れ替え制で実施しました。	104回	2,583人	【恋ヶ窪】こくべじについて、座学だけでなく実際の農園見学や、またそこで収穫したものを使って調理をする時間も組み込み、親子で参加する講座を企画しました。恐竜に関する歴史講座や、三味線や尺八等邦楽に触れる機会も子ども対象で実施。外国を知る講座や寄席に触れる講座も組み入れました。映画および音楽鑑賞はさまざまな世代が楽しめる機会を作ることを意識しました。 【もとまち】様々な年代の市民が公民館へ来館してくれるように様々な事業を実施しました。	市民が文化に触れる機会を継続して提供していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。		
11	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	外国人による外国の紹介	人権平和課	人権平和課	国際協会の協力を得て、学校や公民館などに、地域の外国人を講師として派遣し、外国の文化を紹介する講座等を開催します。また、国際姉妹都市マリオン市との学校交流を推進します。	あり	通訳派遣・翻訳事業を国際協会に委託し、市報記事や庁内文書の翻訳を行ったほか、「やさしい日本語」職員研修を実施しました。	研修1回	28人	国際協会との連携・やさしい日本語の活用	多言語情報の発信について、庁内全体で取り組む体制が取られていないため、外国人市民への情報提供に課題があります。	庁内の状況を把握しながら、引き続き情報の多言語化に取り組むほか、新庁舎に設置されたオンライン通訳システムややさしい日本語の活用を推奨していきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	
12	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	市民大学特別科目聴講生制度の充実	社会教育課	社会教育課	東京経済大学特別科目聴講生への受講料を補助し、市民の学習活動を支援します。	あり	定員の12人が受講しました。	—	12人	事業の間口を広げるため、初めての申込者を優先して選考を行い、聴講生を決定しました。	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。		
13	A 文化に触れる	b)学習機会の提供	市民大学講座等の共催	社会教育課	社会教育課	東京経済大学との共催の下、市民の学習の機会として市民大学講座を実施します。	あり	対面方式による講座を8回開催しました。	8回	171人	東京経済大学との共催の下、国分寺市に関連した講座も含め8回の講座を実施しました。	その時々々の時勢によって、開催時期や開催方法、また運営方法について見直しが必要です。	今後も東京経済大学との共催により、市民の学習の機会として展開していきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

触れる

触れる

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況	意見	
							令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)				(A～E)	文化振興市民会議	推進委員会
							あり									
14	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	文化財を活かしたまちづくり	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	史跡武蔵国分寺跡の周辺地域において、史跡や自然との共生、地域交通、生活環境等まちづくりを推進し、市民が史跡や自然に触れ合う場として整備します。	あり	史跡武蔵国分寺跡の南門地区において、主要遺構である南門、参道、区画溝に架かる木橋の表示や一部復元を行い、来訪者の拠点となるエントランス広場に大型地形立体模型を設置しました。	—	—	大型地形立体模型では、国分寺崖線など地形を立体的に表示した上に、武蔵国分寺の伽藍配置や古代官道東山道武蔵路を表示し、武蔵国分寺の置かれた立地環境がわかるよう工夫しました。	史跡指定地の維持管理について、指定地の拡大、整備の進展に伴って、枯損木処理や草刈り等の負担が大きくなっています。	史跡地内は、整備計画や公有化に合わせて、適切に整備を行っています。史跡地周辺のまちづくりについては、関係課とともに調査・研究していきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
15	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	文化財めぐり等	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課職員の解説のもと、市内、及び市外の文化財をめぐり、文化財に対する理解を深めます。	あり	市立小学校校外学習や、近隣の私立校をはじめとした教育機関で、武蔵国分寺跡及びその周辺の文化財の学習、市外文化財めぐり(常陸国分寺)を実施し、多くの方に国分寺の歴史や文化財への理解を深めていただきました。	市立小学校校外学習(16回)市内私立小学校校外学習(1回)市外文化財めぐり(1回)市内文化財めぐり(1回)	市立小学校校外学習(9,170人)市外文化財めぐり(28人)市内文化財めぐり(13人)	熱中症防止対策を視野に入れて安全な校外学習が遂行できるよう、開催日程を調整し、盛夏時の設定を外す。開催中は水分補給の声掛けや、日陰での休憩などを取り込み実施しました。	—	市内外からの来訪者や小学校の児童をはじめ、近隣の教育機関に対して、国分寺の歴史や文化財への理解を深めてもらえるよう、引き続き、校外学習事業や文化財めぐり等を実施します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
16	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	史跡武蔵国分寺跡公園用地の買収	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	史跡武蔵国分寺跡等を都市化から保護するため、土地取得を進めます。	あり	史跡指定地の1,641.92㎡を公有化をしました。	—	—	—	—	公有化は史跡整備や地権者からの要望等に合わせ、計画的に実施します。また、相続が発生した場合、国及び都に相談し、速やかな対応を図り土地を購入しています。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
17	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	史跡公園整備事業	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	史跡武蔵国分寺跡を歴史学習の場として供用するために、発掘調査の成果を基に整備を行います。	あり	史跡武蔵国分寺跡南門地区のうち約4,500㎡の範囲において整備事業を実施し、主要遺構である南門、参道、区画溝に架かる木橋の表示や一部復元を行い、来訪者の拠点となるエントランス広場に、武蔵国分寺の立地環境がわかる大型地形立体模型を設置しました。史跡整備事業にかかる『歴史公園ガイドブックver.6』を刊行し、武蔵国分寺跡資料館や関係部署にて配布しました。	—	—	近隣小中学校と協議しながら、安全確保に努めました。	—	令和7年度は南門地区の最終年度として、区画溝の表示や四阿など便益施設の設置を行います。令和8年度からは北方地区について整備を行います。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
18	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	各種音楽教室・講習会等の開催	学校指導課	学校指導課	小・中学校の児童及び生徒に対し、音楽教室や講習会を実施することで、音楽への興味・関心を高めるとともに、豊かな感性と情操を養います。	あり	市立小学5年生の連合音楽会や小学6年生と中学3年生を対象とした音楽鑑賞教室を実施しました。	—	—	児童数が増加するなか、会場の都合に合わせて連合音楽会や小学校6年生対象の音楽鑑賞教室は、2部構成とし、参加校を2分割とするなどの工夫を行いました。	—	音楽への興味・関心を高めるとともに、豊かな感性と情操を養う大切な機会となるため、継続して実施していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
19	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	和楽器教室の充実	学校指導課	学校指導課	市立小・中学校に在籍する児童・生徒が和楽器に親しむ機会を提供します。	なし	小・中学校の音楽の時間において、和楽器の指導を行いました。	—	—	琴を使い、子守歌やさくらさくら等の楽曲を実践する等、演奏体験を通じて、和楽器に親しむ機会を設定しました。また、伝統芸能として和太鼓のお囃子などの鑑賞も行いました。	—	令和6年度事業として着実に実施された。	A	令和6年度事業として着実に実施された。	
20	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	ホール施設における体験機会の提供	文化振興課	文化振興課	ワークショップ等の参加型事業を実施し、文化芸術のすそ野を広げます。	あり	①子ども向け楽器体験「オーケストラ探検ファミリーコンサート」(6/16)…弦楽器、管楽器、指揮者の体験②合唱ワークショップ「あまじやくとどりこひめ」(6/12・6/25・7/2)…ワークショップを経て7/6に発表③福岡洗太郎ピアノレッスン(3/20)…受講者を募集者から選考した④ダンスワークショップ(9/25-R7.4/27)…R7.4/27にミュージカル「Song & Dance For You」で発表予定	①1回 ②ワークショップ3回/本番1回 ③1回 ④ワークショップ15回/本番1回	①50人 ②21人 ③受講者4人、聴講者163人 ④27人	指定管理者及び、いづみホール運営委員会委員と協力して行いました。	—	いづみホールで実施するワークショップ等への参加を通じて、鑑賞するだけでなく受動的な関わり方から一歩進み、実際に体験できる機会を提供していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
21	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	姉妹都市交流	人権平和課	人権平和課	市民が、姉妹都市である佐渡市の文化に触れやすくなるよう、同市の指定保養施設を利用する際の助成や、佐渡市での薪能鑑賞に対する助成を行います。	あり	多文化共生×国分寺事業「こくぶんじ国際交流フェスタ」を開催しました。	1回	122人	外国人市民による日本語のスピーチに加え、地域の多文化共生を推進できるよう工夫しました。	—	国際協会や大学等と連携して、引き続き国際交流イベントを実施します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
22	A 文化に触れる	c) 体験機会の提供	青少年の社会参加の拡充	社会教育課	社会教育課	地域住民・学校・行政の連携により、子どもたちが豊かな人間性を育み、併せて地域コミュニティの醸成を図るため、学校施設を使った夏休みキャンプを実施します。	あり	市内8校の小中学校において令和6年9月から12月までデイキャンプ又は宿泊を伴うキャンプを実施しました。	8回	515人	市民が中心となって組織する実行委員会が企画・運営ができるよう備品の貸出しなどで運営を補助しました。レクリエーションやキャンプファイヤーについては市民活動団体に依頼し、協力を得て実施しました。	市民が主体となって運営する事業のため、担い手の確保が課題であります。	B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

はぐくむ

はぐくむ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
23	B 文化をはぐくむ	a) 文化の担い手の育成	ふるさと文化財愛護ボランティア推進事業	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	ボランティア活動の魅力を発信し、必要な知識・技術・心構えを習得するボランティア養成講座を開催します。	あり	ボランティア活動の魅力を発信し、必要な知識・技術・心構えを習得するボランティア養成講座を開催します。	7回	10人認定	職員（学芸員）や外部講師の講習に加え、現役のボランティアさんを講師とし、実際の史跡ガイドツアーを取り入れ講座を実施しました。	—	毎年開催するよう要請講座の申込者の維持と、認定されたボランティアさんが継続的に活動できる環境を整備し活動数を増やします。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
24	B 文化をはぐくむ	a) 文化の担い手の育成	アートマネジメントに関する講座の開催	文化振興課	文化振興課	文化芸術活動の管理運営等に必要知識・技術方法論を持つ人材を育成します。	あり	公演開催時、運営スタッフに学生を起用し、来場者対応を担当してもらうことにより、運営の中で生きたアートマネジメントを実践できる場を提供しました。	12回	各4～6人	いずみホール指定管理者と協力して行いました。	—		A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
25	B 文化をはぐくむ	a) 文化の担い手の育成	みどりのボランティア推進事業	緑と公園課	緑と公園課	市民からの問合せに対し、ボランティア団体を紹介します。また、ボランティア団体の登録等について、ホームページ等で周知します。	なし	市報や市ホームページでボランティア制度の周知を行いました。問い合わせが4件ありました。	—	—	市報や窓口で周知を行いました。	ボランティア登録団体の高齢化による後継者不足。	大学のボランティアサークルへの声かけなど若い世代への働きかけの方法を検討します	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
26	B 文化をはぐくむ	a) 文化の担い手の育成	協働による公園の美化	緑と公園課	緑と公園課	公園の美化活動を自主的に行う団体の活動を支援するため、清掃用具等を支給、貸与します。	あり	活動団体に清掃用具や花の種などを支給したことで公園美化につながりました。32団体が活動しています。	—	—	市報や窓口で周知を行いました。	ボランティア登録団体の高齢化による後継者不足。		B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。
27	B 文化をはぐくむ	a) 文化の担い手の育成	クラブ活動・文化祭等の充実	学校指導課	学校指導課	市立中学校の課外活動に外部指導員を招へいする事業を実施します。また、市立中学校における部活動の行事・競技会等の参加費を補助し、部活動の振興及び参加促進を図る事業を進めます。	あり	教員では実技指導が難しい部活動について外部指導員による指導を実施し、部活動の大会参加費に対して補助金を交付しました。	—	—	—	—	今後も「国分寺市教育委員会運動部活動の在り方に関する方針」及び「国分寺市教育委員会文化部活動の在り方に関する方針」や、学校における教員の働き方改革等を踏まえて実施していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
28	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	育成した人材の活躍の場の提供	文化振興課	文化振興課	育成した人材を、市のイベントに協力を求めるなど活躍の場を提供していきます。	あり	第6回国分寺みらい音楽コンクール受賞者8名によるコンサートを開催し、発表の場を提供しました。	1回	139人	いずみホール指定管理者と協力して行いました。	—		A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
29	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	いずみホールの改修による安全性等の確保	文化振興課	文化振興課	安全性・利便性を高め、市民が活用しやすく、また質の高い活動を展開しやすくなるよう、いずみホールの長寿命化・多機能化・バリアフリー化及び省エネ化を図ります。	あり	施設の定期点検における不具合対応のほか、利用者アンケートからの要望等をできる限り汲み取り、安全性・利便性の向上が図れるよう修繕等を行いました。令和6年度は、・インカムシステム及びワイヤレスマイクシステム修繕・舞台照明設備（ボウダーケーブル）修繕・舞台照明設備（シーリングライトコンセント・強電盤類）修繕、計3件の大規模修繕を実施しました。	—	—	いずみホール指定管理者と協力して行いました。	—	計画的な修繕・更新を推進していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
30	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	文化の拠点施設の確立	文化振興課	文化振興課	公共施設の多機能化のなかで、市民の文化活動はもとより、質の高い公演・事業が実施できるような文化の拠点のあり方や整備方針について検討します。	あり	いずみホールは、平成20年4月から指定管理者制度を導入し、指定管理者による適切な施設管理の運営がされています。また、施設の老朽化が進んでおり、令和2年度に長寿命化改修工事の設計を行いました。当該工事を延伸したため、設計を含めたスケジュールの見直しを検討しました。cocobunjiプラザは、質の高い公演・事業の実施を図るため、令和3年4月から指定管理者制度を導入し、適切な施設管理が行われています。	—	—	毎月開催している指定管理者との定例会で情報共有を行い、連携を行いました。	—	いずみホールやcocobunjiプラザなどの既存施設をより充実させながら、文化の拠点となる施設の更なる活用方法を模索することで、市民が身近に文化・芸術にふれあえるまちを目指していきます。また、利用率が高い施設であるため、サービス水準を維持し、施設の利便性の向上に努めていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
31	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	図書館開館時間の拡大	図書館課	図書館課	図書館の開館時間を拡大することで、図書館を利用しやすくし、新たな図書館利用を広げるための事業を実施します。	あり	令和7年1月6日に本多図書館駅前分館を市役所分館に移転しました。開館日は月～日（祝日・振替休日を除く）、開館時間は8時30分～17時とし、開館日の拡充により図書館サービスの充実を図りました。また、前年度に引き続き、本多図書館は平日夜間20時、光図書館は平日夜間19時まで開館し、本多図書館、光図書館は月曜日の祝日を17時まで開館します。国立駅北口市民サービスコーナー、cocobunji市民サービスコーナーにおいては、19時まで予約図書の貸出・返却の業務を実施し、図書館利用の機会の充実に努めます。	—	—	市役所分館は市役所開庁時間、曜日に合わせました。また、月曜日に開館を実施したことにより、全日において、図書館開館を実施しています。	—		A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

はぐくむ

はぐくむ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
							令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
32	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	図書資料の充実	図書館課	図書館課	図書館の蔵書に新しい資料を加えていくことで、利用しやすい書架をつくり、市民に新しい情報を提供するための事業を進めます。	あり	各館で市民要望を踏まえ資料の購入・寄贈受け入れを行い、利用に供しました。令和6年度は一般図書8,304冊・児童書4,348冊・CD72タイトルを購入・寄贈受け入れを行うなど図書資料の充実を図りました。	—	—	市役所分館については、周辺地域の史跡、湧水等の発信の地域資料、小学校低学年までの子どもを対象の児童書を収集しました。また、市にゆかりのある児童作家のコーナーを設置しました。障害者サービスは「りんごの棚」(大活字本、点字絵本、LLブック)を配架し、特徴のある分館になるよう工夫を行いました。	—	各館の蔵書の充実を図るため、全館において、市民要望に応えられる資料の選定を行い、市民の「学びの場・機会」の充実に努めていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
33	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	図書館システムのIT化推進事業	図書館課	図書館課	図書館システムを導入し、図書館業務の効率化を図ります。	あり	令和3年3月の図書館システムのバージョンアップにより、事務の効率化や利用者の利便性の向上を図りました。次世代システムの調達にあたっての調整に変わりました。また、令和4年度に導入した「電子図書館」に関し、「電子書籍」を537タイトル購入するなど「電子書籍」の充実に努めました。	—	—	現行の「電子図書」の充実のほか、国分寺市の地域資料の電子書籍化を行い、電子図書館に掲載しました。	—	利便性、効率性のより高い次期システムをスムーズに導入できるように関連課と打ち合わせを行います。電子図書館においては、現行の「電子書籍」の充実、地域資料の「電子書籍」を新規作成できるように、関係各課と連携調整を行い、非来館型図書館サービスの向上を図ります。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
34	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	大学図書館の利用	図書館課	図書館課	東京経済大学図書館に利用カードの提供を受け、市民が東京経済大学図書館の利用ができるよう連携を行います。また、市民が各地の大学図書館の資料を利用し、調査研究を行うことができるよう紹介します。	なし	東京経済大学図書館利用カードについて50件の利用カードの貸出しを行いました。また、その他国立大学へも2件の案内を行い、市民が大学図書館の資料を利用し、調査研究を行えるよう努めました。	—	—	—	—	大幅な蔵書拡大が難しい中で、市民の「学び」の機会となるよう、今後も大学図書館の協力が継続して得られるよう引き続き連携に努めていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
35	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	地域センターの充実	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	地域住民が利用しやすい、集会・学習および交流の場として地域センターを活用し、市民文化の向上と福祉の増進を図ります。	あり	地域住民の集会や学習などの自主活動が行われ、地域活動の拠点として活用されました。	—	—	利用者協議会と密に連絡をとりながら、協力体制を維持しました。また、内藤地域センターでは長寿命改修工事を起工し、利用者の意見を取り入れ改修を行っています。	—	引き続き、適切な管理・運営を行い、市民文化の向上と福祉の増進を図っていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
36	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	国分寺駅北口交通広場の整備	駅周辺整備課	駅周辺整備課	国分寺駅北口地区の市街地再開発事業により、交通広場、区画道路等の公共施設を整備し、市の玄関にふさわしい都市景観と安全で快適な都市機能の創出を図ります。また、交通広場内に人の交流やイベント等に利用できる空間を確保することにより、地域における文化活動の振興への寄与を図ります。	なし	国分寺駅北口駅前広場の工事を進め、令和2年2月3日をもって完了させました。さらに、工事完了後は広場の管理を開始しました。また、広場を管理運用していくため、国分寺市国分寺駅北口駅前広場条例・規則を令和3年3月に制定、5月15日に施行しました。 ・令和6年度広場使用件数：746件	—	—	—	—	—	—	—	
37	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	こくぶんじ青空ひろば(移動児童館事業)	子ども子育て支援課	子ども子育て支援課	子どもたちの戸外での遊び環境を保障し、自主的な遊びや生活に根ざした遊びを展開するため、市内4つの公園(日吉町なかよし公園・窪東公園・並木町公園・けやき公園)での遊び活動を協働事業として実施します。	あり	様々な世代の人が一緒に過ごし、コミュニケーションを取れる場として、お互いに良い影響を及ぼしあっており、公園そのものが親子や子どもたちが地域で成長する重要な居場所となっています。このような活動が、地域の活性化と人と人をつなぐ役割を果たしており、これからも継続的な実施を確保していきたいと考えます。	542回	16,483人	気温が高い日でも活動を中止せずに実施できるよう、サマータイムの導入を行い、利用者やスタッフの健康維持にも効果を発揮しました。また、遊び場が少ない地域への対応として国分寺市立第8小学校への出向企画を実施。遊び場の設置と広報を行いました。	—	ゲームやスマホではない体験型の遊びを通じて、子どもたちが貴重な体験を得られる場として青空ひろばの活動は十分に機能してました。今後も幼児期から、外遊びで他者との関わりを学び、体を使って遊ぶことで心と体の成長を促進していきたいと考えます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
38	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	国分寺市プレイステーションの運営	子ども子育て支援課	子ども子育て支援課	子どもが生き生きと安全に遊べる場として、国分寺市プレイステーションの運営を進めます。	あり	青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として設置する国分寺市プレイステーションにおいて、子どもが安全に遊べる環境作りと、引続き子どもの仕事体験・居場所づくりの取組みを行い、年間271日の開園となった。延べ利用者は2万5,314人、一日あたりの平均利用者は93.4人と安定した利用者数となりました。	271日	25,314人	他市のプレイパークへ見学に行き、子どもたちへ提供する最新の活動内容や安全対策を学び、日々のプレイステーションの充実を行いました。	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
39	B 文化をはぐくむ	b) 場・機会の充実	学校の設備・備品の整備	教育総務課	教育総務課	小・中学校で三味線、和太鼓、琴等の伝統楽器等を購入し、児童・生徒が伝統楽器に触れる機会をつくり出します。	なし	学校からの要望に応じ、伝統楽器等の寄附を多数受け入れ、授業等で活用しています。	—	—	伝統楽器について広く寄附募集を行い、年度内で琴2面の寄附を受け入れました。	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

はぐくむ

はぐくむ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見		
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会	
40	B 文化をはぐくむ	b)場・機会の充実	文化・学習・スポーツ施設の予約システムの確立	文化振興課 協働コミュニティ課 スポーツ振興課 地域共生推進課 社会教育課 公民館課 駅周辺整備課 健康推進課 高齢福祉課 デジタル行政推進室 ※回答はデジタル行政推進室のみ	デジタル行政推進室	施設予約の利用手続きの利便性を向上させるため、公共施設予約システムを導入する。	あり	—	—	—	現行の公共施設予約システムの運用が滞りなくできています。次期公共施設予約システムの導入に向け、検討グループを立ち上げ、業務フローを見直すなどの準備を進めています。	—	—	次期公共施設予約システムの導入に向け、施設所管課係長4名で構成する検討グループを立ち上げ、施設所管課の意見を取り入れています。	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
41	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	祭り・年中行事の継承	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	地域の底力発展事業助成を自治会・町内会に向けてPRしていきま。また、財団法人自治総合センターによる一般コミュニティ助成を自治会・町内会に向けてPRし、地域の底力発展事業助成5件が対象団体として決定されました。	なし	—	—	—	財団法人自治総合センターによる一般コミュニティ助成事業及び東京都の地域の底力発展事業助成を自治会・町内会に向けてPRし、地域の底力発展事業助成5件が対象団体として決定されました。	—	—	市ホームページや自治会・町内会への資料配布により、助成制度の情報共有を滞りなく行いました。また、「自治会・町内会活動促進参加チラシ」のフォーマットを作成、提供することで会員の活動参加促進を図りました。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
42	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	いずみ春の祭典	文化振興課	文化振興課	市内で芸術活動を行っている団体から参加者を募集し、実行委員会形式でいずみ春の祭典を開催します。	あり	2回	参加団体数 36団体 来場者数 3/1…511人 3/2…1,127人	—	市内で文化芸術活動をしている団体・グループで構成される第35回いずみ春の祭典実行委員会に委託して開催しました(3/1、3/2)。日頃の活動の成果発表の場を設けることで、市民に文化芸術に触れる機会を提供することができました。また、プロによる特別企画として、「ハーモニカデュオ ボン・ボア」も開催しました。	—	—	市民一人ひとりの自主性と創造性が発揮され、市主導ではなく、市民が主体となって市と協働しようという意識や機運を醸成し、国分寺ならではの文化が生み出される素地をつくるため、引き続き、実行委員会形式により開催していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
43	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	文化活動への支援	文化振興課	文化振興課	市民を対象に行われる芸術文化振興事業に対する助成を行い、文化芸術活動をする団体の育成及び新たな文化イベントの市民への定着を図ります。また、いずみホール主催事業を契機として誕生した団体の活動への支援を行っていきます。	あり	審査会2回	2団体	—	芸術文化振興事業補助制度により、2団体の補助金交付を行い、事業が円滑に実施できるよう、審査会で助言を行いました。また、事業実施に伴う市報・市ホームページ等の広報を行いました。	—	—	芸術文化振興事業補助制度の目的である、「市民が身近に芸術にふれあえるまち」の実現のために、引き続き制度の周知を行い、団体の支援を行っていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
44	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	市民文化祭の開催	文化振興課	文化振興課	市内の文化団体等の代表者で組織される実行委員会の企画・運営により市民文化祭を開催することで、市民の文化芸術活動の成果発表の機会を提供し、地域における文化芸術活動の活性化を図ります。	あり	1回(16種目)	出演者数:2,082人 来場者:4,353人	—	開催期間:令和5年9月24日～11月26日 会場:本多公民館/いずみホール/コロンブスプラザ 参加種目:市民グループ展/きものフェスティバル/日本舞踊大会/民舞大会/詩吟剣詩舞大会/音楽祭/三曲演奏会/大正琴演奏会/謡曲大会/古典尺八演奏会/ダンスフェスタ/華道展/書道展/美術展/将棋大会/囲碁大会	—	—	歴史ある事業の市民文化祭は、実行委員会の運営による方式で市民参加型事業として実施しています。市報・市ホームページへの掲載などを通じて本事業を周知しました。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
45	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	文化団体連絡協議会への支援	文化振興課	文化振興課	市民文化を活性化することを目的し、国分寺市文化団体連絡協議会の活動経費の一部を補助します。	あり	—	—	—	市民文化を活性化することを目的し、国分寺市文化団体連絡協議会の活動経費の一部を補助しました。	—	—	文化連協まつりの冠を付して行われた11団体事業の大会や本部経費の一部補助により協議会を支援しました。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
46	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	学習・文化活動の援助	社会教育課	社会教育課	教育・学術・文化の普及及び向上に寄与するもので公益性があると認められる事業に対し、申請に基づき教育委員会名義後援を行っていきます。	あり	—	—	—	107件の名義後援申請があり、審査の結果、106件の承認、1件の不承認があった。	—	—	様々な事業に関する申請があるが、国分寺市教育委員会として名義後援するに相応する事業への承認を行いました。	B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。
47	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	学習・文化活動の支援	公民館課	公民館課	学習・文化活動を行う公民館自主グループに対し、学習や活動を支援し、活性化を図ります。	あり	12回	670人	—	【本多】グループ企画事業(2講座)、保育グループ共催事業(1講座)など6講座の支援を行いました。 【光】LIVE☆HIKARIを実施し、スタジオを利用する団体の活動の場を提供しました。 【並木】公民館で活動しているグループの定例活動を一般に公開するグループ活動公開事業を10月に実施しました(合計11グループ)。	—	—	【並木】活動公開日のチラシを団体ごとに作成して配架しました。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

はぐくむ

はぐくむ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A~E)	意見	
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
48	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	ぶんぶんウォークの開催	市政戦略室	市政戦略室	ぶんぶんウォーク実行委員会との共催により、明確な役割分担のもと、市民が地域資源の価値を発見する目的としたイベントを開催し、市民のまちに対する愛着を醸成するもの。	なし	ぶんぶんウォーク実行委員会と市の共催により、10日間にわたって開催しました。市内100拠点に大小併せて約200の企画を実施し、周遊することで市民のまちに対する愛着が醸成されました。	1回(11日間)	参加者数(クイズラリー-景品数から集計推測):100か所(クイズラリー全86文字達成者数)404組、30か所(クイズラリー-30文字達成者数)446組。合計2,550人(推計)※家族やグループでの参加が多く、人数にばらつきがあったため、平均して1組あたり3人としてカウント。	クイズラリーの拠点参加者募集にあたっては、新たな拠点を開拓するために、市報記事とゲーグルフォームの募集時期を合わせることで公平・公正な募集の仕組みを構築しました。	—	今後も実行委員会と役割分担を明確にした上で、これまで実施してきた様々なイベントに加え、市民が安全かつ楽しくまちの魅力を再発見できるよう、新たな取り組みを導入しながら開催します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
49	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	水と緑のイメージに配慮したデザイン・建築・開発	まちづくり推進課	まちづくり推進課	開発事業に対し「国分寺市景観まちづくり指針」、「国分寺市景観まちづくり指針ヒント集」を活用し、まちづくり条例に基づき景観計画に関する協議を行い、望ましい景観形成を進めます。	なし	国分寺市まちづくり条例第41条に係る開発事業38件(大規模開発事業2件含む)に対し、同条例別表第3の15項に基づく景観に関する協議を行い、「国分寺市景観まちづくり指針」及び「国分寺市景観まちづくり指針ヒント集」をもとに、建築物等の配置・形態・意匠、公開空地、積極的な接道緑化等において、良好な景観形成に寄与する計画となるよう指導しました。	—	—	開発事業に係る建築物の外壁及び屋根の色彩においては、景観計画協議書を用いながら、「国分寺市景観まちづくり指針」及び「国分寺市景観まちづくり指針ヒント集」に示すマンセル表色系の推奨色の範囲内となるよう協議調整を行い、積極的な接道緑化等、周辺環境と調和したまちなみ形成に配慮した計画となるよう指導しました。	—	今後も開発事業に対しては、事業者との間で景観に関する協議を行い、周辺環境と調和した良好な景観形成に寄与する計画となるよう指導します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
50	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	都市景観形成事業	まちづくり推進課	まちづくり推進課	「国分寺市景観まちづくり指針」、「国分寺市景観まちづくり指針ヒント集」を活用し、景観に配慮した建築・開発の促進に努め、望ましい景観形成を進めます。	なし	国分寺市まちづくり条例第41条に係る開発事業38件(大規模開発事業2件含む)に対し、同条例別表第3の15項に基づく景観に関する協議を行いました。また、地区計画区域内における建築行為30件(変更5件含む)に対し、事前相談のほか、都市計画法第58条の2の規定に基づく地区計画の区域内における行為の届出について適合審査を行い、各地区の特性にふさわしい良好なまちづくりとなるよう、建築物の外壁及び屋根の色彩、外構等について指導しました。	—	—	開発事業に係る建築物の外壁及び屋根の色彩においては、景観計画協議書を用いながら、「国分寺市景観まちづくり指針」及び「国分寺市景観まちづくり指針ヒント集」に示すマンセル表色系の推奨色の範囲内となるよう協議調整を行い、また、積極的な接道緑化等、周辺環境と調和したまちなみ形成に配慮した計画となるよう指導しました。	—	今後も開発事業に対しては、事業者との間で景観に関する協議を行い、周辺環境と調和した良好な景観形成に寄与する計画となるよう指導します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
51	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	地域センターまつりの開催	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	西町、内藤、北町、北の原、もとまち地域センターでは、利用者協議会及び実行委員会主催のまつりを行います。利用者による練習成果の発表、作品展示、模擬店等を行い、地域住民の交流を図ります。	あり	新型コロナウイルス感染症対策により開催を見送っていた、内藤、もとまち地域センターもまつりを再開しました。西町、北町、北の原地域センターのまつりも実施し、各地域センターとも盛況の中、地域住民の交流が図られました。	5回	西町:965人 北町:300人 もとまち:276人 ※内藤、北の原は未集計	利用者協議会及び実行委員会の意見を聞きながら、消耗品の提供、設置支援等を行い、まつりの運営に協力しました。	—	まつりの開催や運営について、引き続き支援を継続しながら、適宜利用者協議会への助言を行っていきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
52	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	国分寺まつりへの支援	文化振興課	文化振興課	国分寺まつり実行委員会への補助金の交付及び事務局等、市民交流の場としての国分寺まつり開催を支援し、地域コミュニティの醸成を図ります。	あり	11月3日、4日に2日間開催した第41回国分寺まつりは、市民まつり・商工まつり・農業祭が一体となったまつりで、多くの来場者で賑わい、市民同士の交流を図ることができました。	1回	約180,000人(各日90,000人)	市民はもとより市外在住の方が多く集まる国分寺まつりが盛り上がるよう、実行委員会の事務局として様々な部会や団体と連携しながら事業を進めました。	—	補助金の交付及び事務局の立場を通じて、市民交流の場として国分寺まつり開催を支援していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

はぐくむ

はぐくむ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
53	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	公民館まつりの開催	公民館課	公民館課	公民館自主グループの学習活動の成果を広く発表する場として、公民館まつりを実施し、多くの人の目に触れると共に、地域との交流を図る機会をつくれます。	あり	【本多】新緑まつりを開催しました。 【恋ヶ窪】①恋ヶ窪公民館祭：昨年度を大幅に上回る30団体が参加。公民館内で作品展示、第九小学校体育館で舞台発表、公民館中庭では子どもが楽しめるようなものも含め様々な催し物を開催。演奏発表、催し物開催、ポスター原画作成等で第五小、第九小、第一中とも連携し、また当日ボランティアとして第一中学校生や大学生の協力も得て、地域の多くの方々と関わり実施することができました。 【光】光公民館まつりを開催しました。 【もとまち】ふれあいまつり・もとまちを開催しました。 【並木】公民館活動グループによる実行委員会形式で、並木公民館まつり(3日間)を実施し、図書館課とも共催で行いました。	5回	5,940人	【恋ヶ窪】地域の団体や小中学校への参加呼びかけ、また地元の商店街でのポスター掲示など、地域の中にある公民館の存在をアピールし、実際に足を運んでもらう機会となることを意識しました。 【もとまち】もとまち児童館、さわやかプラザと共催で実施しました。 【並木】例年行ってきた公民館活動グループによる舞台発表や展示、模擬店だけではなく、並木公民館運営サポート会議と共催での特別企画俳句コンテストを実施したり、前年度の朗読劇講座参加者による成果発表も行いました。まつりのパンフレットやポスターの原画を、まつり参加者の他、近隣の小中学生や国分寺高校イラスト文芸部に制作してもらいました。	—	引き続き各グループと連携し、事業を実施していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
54	B 文化をはぐくむ	c)文化の創出	市民活動の推進	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	市民活動団体の活動を支援します。また、協働事業を推進していきます。	あり	市民活動の推進に向けて、以下の取組を行いました。 ■市民活動センター(以下「センター」という。)登録団体(以下、「団体」という。)支援 ・アクティ・コブンジ会議室及び印刷機等の貸出し ・センターホームページにおいて助成金、貸出備品等の情報掲載及び団体からの発信情報の掲載 ・団体支援イベント ①市民活動フェスティバル(参加団体が一堂に介するオープニングフェスタを開催するとともに市内各所で団体が分散してイベントを実施) ②こらぼdeサロン ③団体向け講座 ④コーディネーターカフェ ■協働事業の推進(令和6年度実施事業) ・公募型協働事業・・・4事業 ・提案型協働事業・・・2事業(令和7年度実施事業採択) ・公募型協働事業・・・4団体採択(4事業公募) ※提案型協働事業は、応募なし。	①市民活動フェスティバル(1回) ②こらぼdeサロン(3回) ③団体向け講座(2回) ④コーディネーターカフェ(1回)	①市民活動フェスティバル参加団体:24団体(オープニングフェスタ参加者:約300人、分散開催参加者:計測不能) ②こらぼdeサロン参加者:延べ29人 ③団体向け講座参加者:延べ23人 ④コーディネーターカフェ参加者:延べ1人	市民活動フェスティバルは、団体の活動PRや市民との交流、地域活動の活性化を目的として実施していますが、団体間の交流もできる場として、参加全団体が一堂に介するオープニングフェスタを開催しました。	団体の人材不足、高齢化が顕在化してきており、新たな人材の発掘・育成が必要となっています。	協働事業の推進については、団体向けのアンケート、ヒアリングを実施し、今後の在り方を検討していきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

つなぐ

つなぐ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
							令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
55	C 文化をつなぐ	a) 文化の保存・継承	遺跡の発掘調査	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	埋蔵文化財包蔵地内の開発に対し、発掘調査によって埋蔵文化財の記録保存を図ります。また、調査報告書を刊行し、市民に発掘調査の成果を公表します。	あり	開発事業に対し、市内遺跡発掘調査を令和6年度は19件行いました。また、そのうち過去に調査した2地点について発掘調査報告書を刊行しました。	—	—	—	調査の成果は、報告書や展示によって公表しているが、近年、業者の繁忙及び職員体制の影響で、報告書作成に係る整理の進捗が課題となっています。	他市などと情報を共有しながら調査方法を再検討するとともに、引き続き、調査した成果の公表に努めます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
56	C 文化をつなぐ	a) 文化の保存・継承	文化財登録制度の導入	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	文化財の指定制度を補完し、保護の対象を拡充するため文化財の登録制度の導入を進めます。	なし	文化財登録制度は、他自治体で先駆的に導入されているものの、事例が少ないため、昨年度に引き続き、制度の調査・研究を行いました。	—	—	—	他自治体の事例調査に加え、学術的な裏付けを担保するための基準を検討する必要があります。また、登録制度の導入以前に、文化財総合調査による文化財の目録搭載を実施することが肝要ですが、調査に費用と時間を要する点が大きな課題です。		B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。
57	C 文化をつなぐ	a) 文化の保存・継承	有形文化財等の収集・整理	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	近世～近代の古文書や民具を収集・整理し、有形文化財の保存に努めます。	あり	国分寺町消防団第十分団の消防器具や民家の仏壇の調査を行いました。また、民俗資料の整理について検討を行いました。	—	—	—	収集した資料を適切に保存するための施設や整理作業する場所の確保が課題です。また、資料リストの統合、再整理を行う必要があります。	民具・古文書等の情報収集及び整理を継続して行います。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
58	C 文化をつなぐ	a) 文化の保存・継承	市内文化財総合調査事業	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	あらゆる分野の文化財の所在及び現状を調査し、詳細に把握します。	あり	解体される建造物の緊急的な調査を行いました。また、天然記念物調査の再開に向けた調整を行いました。	—	—	—	あらゆる分野の文化財調査については、膨大な対象件数と調査に費用と時間を要する点が大きな課題です。	既往調査の報告書作成と引き続き所在及び現状の調査を行います。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
59	C 文化をつなぐ	a) 文化の保存・継承	浸透ます設置	下水道課	下水道課	雨水排出量の抑制、多摩川等への汚濁負荷低減及び地下水の涵養ため、一般住宅への雨水浸透施設の設置を促進します。	あり	令和6年度雨水浸透ます設置数 2,153基 平成2年からの累計 63,867基	—	—	・デジタルサイネージ（駅周辺、駅案内所） ・電子掲示板（市民課） ・ぶんバス内広告掲載 ・チラシ等配布（国分寺まつり）	周知等を行っているが、雨水浸透ますの設置の要望が減少傾向にあります。		B	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。	課題はあったが、令和6年度事業として実施された。
60	C 文化をつなぐ	b) 交流の促進	異世代交流事業の推進	公民館課	公民館課	幅広い世代の市民が、ともに学び、活動し、交流できるよう、異世代交流の機会となる事業を実施します。	あり	【本多】子どもと大人の交流・体験広場として、6事業を実施し、参加者及び指導者が各事業を通して共に学び合い豊かな体験が出来る活動をしました。 【もとまち】もとまちボードゲームパーティを開催。 【並木】①小学生が、公民館で活動するグループや地域のひとと一緒にミニまつりを企画し友達や家族を招待する講座「まちなかの環 みんなで作るうみまつり」(全4回)を実施しました。 ②公民館で活動している陶芸グループの協力で子ども陶芸教室を実施しました。 ③しんまち児童館と並木図書館との共催で、子どもが地域の大人のサポートを受けながら当日のブースの企画運営を行ったり、地域の大人による模擬店やイベントを楽しむ子どもまつりを実施した。第五中学校も会場として使用しました。 ④地域で活動している団体や個人が集まる「地域のひろば 並木の会」では、こくペジに関するグループワークを行い地域の生活課題について話し合いました。	12回	2,144人	【本多】子どもたちへの周知のため、近隣の小学校へチラシの配布を行いました。 ・子ども向けと捉えられがちな事業も年齢を限定しないことで、結果的に異世代交流に結びついています。 【もとまち】以前、もとまちファミリー運動会として実施していたものを異世代の交流の場としてボードゲームパーティとして復活させました。 【並木】①子ども達の企画と一緒に実現していくにあたり、未就学児の子どもがいる母親のグループにも協力してもらうなど、幅広い世代の交流となるようにしました。 ②陶芸施設利用グループの利用者懇談会で内容を検討しています。 ③しんまち児童館、並木図書館に加え、地域で活動するグループ、PTAも参加する大人サポーター会議の中で、子どもが様々な体験ができるよう内容を検討しました。 国分寺広告や大学生のボランティアサークルにも出店をしてもらいました。 ④活動報告だけでなく、トークテーマを設け、グループワークを行いました。	引き続き異世代交流が推進するように事業を実施していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	
61	C 文化をつなぐ	b) 交流の促進	老人会と児童(むかし遊び)の交流	子ども子育て支援課	子ども子育て支援課	本多異世代交流事業実行委員会に参加し連携を図り、児童館において異世代交流の場をつくります。	なし	ほんじどまつり クリスマスマジックショー けん玉	1回 1回 7回	100人程 35人程 270人程	参加していただく団体と事前の打ち合わせを行い、当日を迎えられるように準備を進めています。 けん玉も検定ノートを作成したことで興味をもってかわりが増え、継続した交流が生まれています。		A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。	

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

つなぐ

つなぐ

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
							令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
62	C 文化をつなぐ	b) 交流の促進	近所づきあい・助け合いの推進	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	市や社会福祉協議会、警察、消防からの情報を自治会・町内会へ提供し、自治会・町内会同士の情報交換・交流を図ります。	あり	3回	70団体 33団体	会場における対面参加のほか、オンライン参加も導入し、来場が難しい自治会メンバーの参加に寄与することができました。	—	引き続き、情報提供の内容や開催方法などについて研究していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	
63	C 文化をつなぐ	b) 交流の促進	国際協会の支援	人権平和課	人権平和課	市の多文化共生事業の多くを担っている国分寺市国際協会の事務局人件費を補助金として支出し、支援します。	あり	—	—	日本語教室の運営や、日本語支援ボランティア養成講座などの実施にあたり、関係者間で情報共有しながら事業を進めました。また、国際協会と共催で、国際交流イベントを開催しました。	外国人住民の増加に伴う日本語教室へのニーズの増加に対応できていません。ボランティアの高齢化や運営に携わる会員の不足なども引き続き課題となります。	引き続き、イベントの共催、多文化共生について連携して事業を進めていきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

広める

広める

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
64	D 文化を広める	a) 文化の発信	シンボルマークの活用	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	武蔵国分寺跡資料館のロゴを活用し、資料館のPRをしていきます。	なし	武蔵国分寺跡資料館の企画展ポスター・チラシ、パンフレット・リーフレット及び資料館だより(3回、各2,000部)にロゴを掲載し、普及活用を図りました。	—	—	—	資料館だよりや施設案内パンフレット等に資料館のロゴを使用して作成し、資料館のPRを実施します。資料館だよりを年3回、毎月2,000部発行します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	
65	D 文化を広める	a) 文化の発信	遺跡地図の刊行	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	埋蔵文化財包蔵地を周知するため、市内の遺跡地図を刊行していきます。	あり	GIS(地理情報システム)に史跡指定地や発掘調査の成果を反映した遺跡地図を表示するために、デジタルデータの整備を進めています。	—	—	—	史跡指定地や発掘調査の成果を反映し、定期的に遺跡地図を改訂刊行するとともに市ホームページで公表します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	
66	D 文化を広める	a) 文化の発信	普及書刊行事業	ふるさと文化財課	ふるさと文化財課	武蔵国分寺跡資料館で実施した企画展の図録や、各種文化財の調査報告書を発行し、文化財の普及に努めます。	あり	夏季展示「国分寺市制施行60周年記念写真展 国分寺市誕生 その日、その時」及び「浜野栄次 昆虫コレクション～虫の色のひみつ～」、秋季展示「文化財保存館の歴史を振り返る15年目の蔵出し展」のパンフレット及びリーフレットを作成しました。	—	—	—	武蔵国分寺跡資料館で実施した企画展のパンフレットや図録、各文化財の紹介リーフレットや調査報告書を発行します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	
67	D 文化を広める	a) 文化の発信	国際化施策推進事業	人権平和課	人権平和課	外国人市民の暮らしやすさを向上させるため、多言語による情報提供や広報を行います。	あり	通訳派遣・翻訳事業を国際協会に委託し、市報記事や庁内文書の翻訳を行ったほか、「やさしい日本語」職員研修を実施しました。	—	—	国際協会との連携・やさしい日本語の活用をしました。	多言語情報の発信について、庁内全体で取り組む体制が取られていないため、外国人市民への情報提供に課題があります。	庁内の状況を把握しながら、引き続き情報の多言語化に取り組むほか、新庁舎に設置されたオンライン通訳システムややさしい日本語の活用を推奨していきます。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
68	D 文化を広める	a) 文化の発信	市内の文化イベント及び市内で活動する団体の文化活動の情報発信	文化振興課	文化振興課	市報や市ホームページ、文化振興市民会議のホームページの他、様々な情報媒体を活用し、市内のイベント情報や市内で活動する団体の文化活動に関する情報等を発信することで、参加や活動を促していきます。	あり	文化活動に関する情報を市報、市ホームページ、文化振興市民会議、いずみホール運営委員会、市イベント・観光X(旧Twitter)、いずみホールX(旧Twitter)、チラシ、ポスターの情報媒体を活用して、市民に広く発信したことにより、それら閲覧して申込みを決めたという参加者が増えました。	—	—	即時性のあるX(旧Twitter)の運用については、フォロワーが閲覧しやすいタイミングを考慮しながらポストしました。	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。	
69	D 文化を広める	a) 文化の発信	市民グループ等の個別活動の情報発信	協働コミュニティ課	協働コミュニティ課	市民活動センター登録団体やその活動状況の情報発信を支援し、活動に関心のある人がグループに参加しやすくなることを目指します。	あり	・市民活動センターの機関紙「こらぼ」の発行やホームページで、登録団体のイベント情報や会員募集などの情報発信の支援を行いました。 ・市民活動センター講座として、「デザイナーに学ぶチラシ作り」を開催し、団体の情報発信力強化への支援を行いました。	・ホームページアクセス件数: 372,181件 ・機関紙「こらぼ」の発行: 年4回、1,950部 ・登録団体情報冊子の作成: 年1回、150部 ・チラシ作成講座: 1回	・チラシ作成講座: 9団体	チラシ作成の講座と併せて、市民活動フェスティバルにおいてチラシコンテストを開催し、各団体の情報発信に対する意識醸成を図りました(20団体参加)。	各団体の情報発信力を更に高めていく必要があります。	チラシの作成やSNSの活用方法など、団体の情報発信力強化のための講座等を開催します。	B	今後も課題を整理して実施してもらいたい。	今後も課題を整理して実施してもらいたい。
70	D 文化を広める	a) 文化の発信	インターネット等による文化情報の提供	市政戦略室	市政戦略室	インターネットを中心とした様々な媒体を駆使し、広く市民に文化情報を提供します。	なし	市報レイアウト内部制作の開始後も、市報にホームページ検索番号や二次元コードを掲載することで、紙媒体とインターネット媒体の連動を図りました。また、広報番組ぶんぶんチャンネルや広報ラジオ番組についても、放送に合わせてYouTubeに動画を投稿し、広く視聴されるよう継続して努めています。	—	—	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。	
71	D 文化を広める	a) 文化の発信	文化功労者の表彰	秘書課	秘書課	文化の向上に寄与し業績が顕著なものを表彰し、表彰状と記念品を贈呈します。	あり	対象者を毎年11月3日に表彰しました。	—	—	表彰制度を広く周知し、積極的な表彰推薦を促します。	—	表彰候補者の推薦要請に努め、適正な審査を経て実施します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
72	D 文化を広める	a) 文化の発信	文化施設及び文化に関する情報の多言語対応	文化振興課	文化振興課	外国人市民が文化事業に参加しやすくなるため、文化施設の案内表示やイベント情報の発信について多言語対応を進めます。	なし	ホールを管理する指定管理者が、施設内の案内表示について、随時、外国語表記の他、やさしい日本語で対応しました。	—	—	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。	
73	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	大学生の協力を得る仕組みづくり	文化振興課	文化振興課	美大生をはじめとする大学生によるワークショップの開催等、大学生の協力を得て文化芸術に関する事業を実施し、大学との連携を目指します。	あり	「もっと知りたいシリーズ12 アートを身近に—うみだすひと、うけとるひと、つなぐひと」を3月16日に開催し、同時開催として武蔵野美術大学生の企画により、ワークショップ「出会う はんこアート工房」を実施しました。	1回	50人	—	若い世代が文化芸術に触れられるよう、今後も継続して実施していきます。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。	

第2次国分寺市文化振興計画に定める事業の進捗及び評価について（令和6年度）

広める

広める

項番	中期的目標	施策の柱	事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無 令和6年度 予算	実施状況			実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A～E)	意見	
								実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
74	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	人材の発掘	文化振興課	文化振興課	文化振興の担い手として、市内在住の専門家や文化活動をしている市民とのネットワークを形成するとともに、文化に関心を持つ市民や活動している市民との協働のため人や団体をつなぐ人材を発掘します。	あり	文化振興市民会議の定例会を6回開催し、第2次文化振興計画の進捗状況を確認しました。また、文化施策に関する勉強会として、アール・ブリュット2024巡回展「抽象のラビリンス」の鑑賞・講師によるレクチャー・意見交換等を行いました。	—	—	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。	
75	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化振興の活性化	人権平和課	人権平和課	東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するとともに、2020年以降も継続して取り組まれる文化活動をレガシー（将来的な資産）として残すことを目指し、市民と協働して文化プログラム等を実施していきます。	あり	多文化共生×国分寺事業「こくぶんじ国際交流フェスタ」を開催しました。	1回	122人	外国人市民による日本語のスピーチを加え、地域の多文化共生を推進できるよう工夫しました。	—	国際協会や大学等と連携して、引き続き国際交流イベントを実施します。	A	今後も継続して実施してもらいたい。	今後も継続して実施してもらいたい。
76	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	市民協働に向けた仕組みの検討	文化振興課	文化振興課	市民との協働に基づいて文化振興を推進していくため、専門知識や意欲を持つ市民が検討・協議の場に参加しやすくとともに、市民が主体となりやすいよう市民協働のための仕組みについて検討を進めます。	あり	いずみホール運営委員会の提案から、2つの市民企画による事業を実施しました。 ①オペラ「あまんじやくとどりこひめ」…プロのソリストと一般募集した合唱ワークショップで作る企画。(6/12・6/25・7/2) ②ミュージカル「Song & Dance For You」(9/25-R7.4/27)…歌とダンスをワークショップで学び発表する企画。 本事業は、市民が企画した催しであり、文化振興のみならず市民協働も推進することができました。	①ワークショップ3回/本番1回 ②ワークショップ15回/本番1回	①21人 ②27人	事業検討に当たっては、文化芸術に興味をもつ市民が参画しやすい企画となるように意見を積み上げました。	—	—	A	令和6年度として着実に実施された。	令和6年度として着実に実施された。
77	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	学生教育ボランティア事業	学校指導課	学校指導課	大学生が学校の教育活動に協力し、ボランティア活動を行います。	あり	近隣の大学に協力依頼し、大学生にボランティア登録をいただき、そのうえで、小中学校の要請に応じてボランティア活動をしていただきました。 ・学生ボランティア登録者数 43人	—	—	毎月1回、各小中学校へ登録者情報を提供し、ボランティア活動の場を広げました。	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
78	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	推進体制の確立	文化振興課	文化振興課	文化施策における評価方法を確立するとともに、評価を行う庁内組織を構築し、進行管理を行っていきます。	なし	文化振興計画に定める事業の管理を行うため、庁内組織である国分寺市文化振興計画推進委員会において進捗確認を実施しました。	2回	17人	文化振興計画の適正な評価を得るため、事業担当課からの実施状況を把握し、文化振興市民会議からの意見も反映しながら、調査票を作成しました。	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。
79	D 文化を広める	b) ネットワークの形成	教育機関や地元産業等との連携の拡充	子ども若者計画課	子ども若者計画課	東京学芸大学と国分寺市・小金井市・小平市が連携し、子どもと関わるボランティア等の資質向上を目指す講座を開講します。	あり	3市それぞれが11月～12月にかけて対面講座を実施しました。本市の対面講座では「こどもと向き合うための表現教育」と「居場所づくりと地域の関わり方」を実施しました。その他、過去の講座等も受講できるオンデマンド講座も実施し、複数形式で講座を実施し、地域における子どもの育ちに関わる活動等を支えるボランティアの養成を図りました。	8回	296人	対面講座だけでなく、オンデマンド講座も実施した。オンデマンド講座には、従来の7種の講座に加え、新たに「こども大綱を知ろう」を追加しました。	—	—	A	令和6年度事業として着実に実施された。	令和6年度事業として着実に実施された。

【各項目内容説明】

項番	の進捗及び評価について		事業名	令和6年度所管	令和7年度所管	事業概要	予算の有無		実施状況		実施に際して工夫した点	課題	今後の進め方	実施状況 (A~E)	意見	
	中期的目標	施策の柱					令和6年度 予算	実績と成果	実施回数 (イベントのみ)	参加人数 (イベントのみ)					文化振興市民会議	推進委員会
1	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	既存文化財展示施設の充実	ふるさと文化財課	①	武蔵国分寺跡資料館や文化財資料展示室、民俗資料室において、発掘調査により出土した文化財及び収集した資料の展示や史跡の整備状況を紹介します。市民の文化財に対する理解を深めます。	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
2	A 文化に触れる	a)鑑賞機会の提供	(仮称)郷土博物館構想調査事業	ふるさと文化財課		国分寺市の歴史的資料を適切に収蔵保管し、生涯学習や情報の集積・発信並びに学校教育と積極的な連携のもとで展示公開するための拠点として(仮称)郷土博物館設置を検討します。										

- 全体について…空欄の場合は「ー」(ダッシュ)。
- ①「令和7年度所管」…令和7年度の所管課。
- ②令和6年度の予算の有無。
- ③「実績と成果」…令和6年度に実施した内容と、得られた成果。
未着手・未実施、中止、ないしは終了の場合は、その理由。
- ④「実施回数」…講座や市民参加型の活動など、イベントを実施する事業については、その実施回数。
- ⑤「参加人数」…講座や市民参加型の活動など、イベントを実施する事業については、イベントの参加人数。
複数回実施した場合は、延べ人数。
- ⑥「実施に際して工夫した点」…専門家の取り込み、他部署との協力、市民団体との協働、広報でのSNSの活用など、工夫した点。協力した部署名、協働した団体数、広報に用いた媒体、発行部数。
- ⑦「課題」…実施に当たっての課題。(実施状況が「B」である場合のみ)
- ⑧「今後の進め方」…令和7年度以降の実施予定。(令和7年度から期間が開始する第3次国分寺市文化振興計画の事業に該当していない場合は、記入なし。)
- ⑨「実施状況」…A~Eの5段階。
「A」十分実施されている／「B」実施されているが、課題がある／「C」未着手・未実施／「D」中止／「E」終了